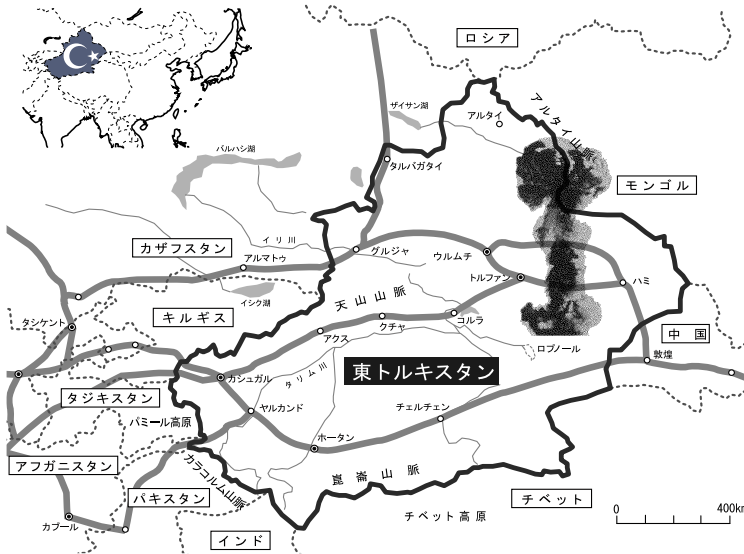


★日本ウイグル協会主催上映会

映像で知る放射能被害

～ヒロシマ、ナガサキ、シルクロード～



日本は広島・長崎に原爆を落とされた国として、また、東日本大震災で福島第一原子力発電所が事故を起こし、大量の放射能が漏れたことから、特に放射能障害についての関心は高くなっています。

しかし、隣国である中国は、ウイグルのロプノールにある核実験場において、46回、総爆発出力22Mt（広島原爆の約1370発分）の核爆発実験を行いました。中国は核実験の被害状況を公表せず、現地調査も許可しないため、被害状況は長い間不明のままです。

ですが、1992年にウイグル人のアザト・アキムベク、ユシュムベク・ムフリーシが世界核被害者大会で被曝の状況を訴え、1998年にはイギリスのチャンネル4が「Death on the Silk road」というウイグルの被曝についてのドキュメンタリーを放送しました。さらに2008年、札幌医科大学の高田教授がカザフスタンのデータとRAPS計算式により分析した結果、この実験による死傷者の総計が100万人以上にのぼると推論しました。中国共産党の極秘資料によると75万人の死者が出たとも言われます。

核実験の中でも「地表核爆発」は、砂礫などの地表物質と混合した核分裂生成核種が大量の砂塵となって周辺および風下へ降下するため、空中核爆発と比べて核災害の範囲が大きくなります。このような危険な実験を、中国政府はウイグル人居住区で、避難勧告も出さないままに行いました。

本上映会では中国の核実験の一端を調査したドキュメンタリー「Death on the Silk road」を上映します。

また、中国の核実験について簡単に解説します。皆様、ご参加宜しくお願いします。

【上映作品】

「Death on the Silk road」

(日本語字幕 制作：イギリス Channel4 1998年)

【同時上映】

(一部)

「はとよ ひろしまの空を」

(小学生向けアニメ 制作：東映株式会社教育映像部 1999年)

(二部)

「ヒロシマ・母たちの祈り」

(記録映像 制作：日本映画心社 1990年)

【場所】

川崎市国際交流センター 第五会議室

(川崎市中原区木月祇園町2-2)

(最寄り駅：元住吉 徒歩10分)

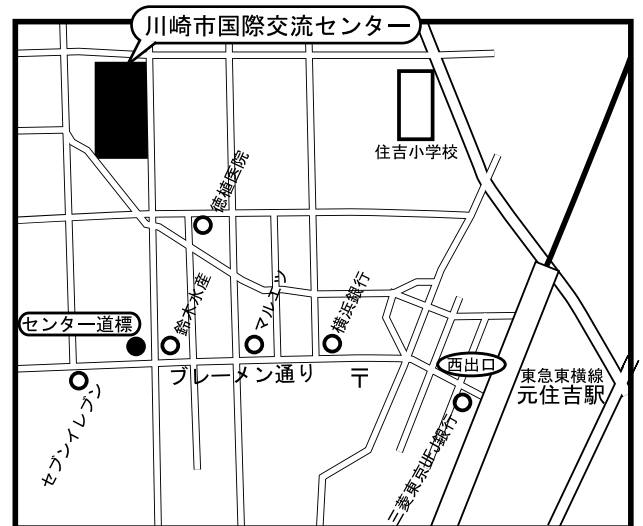
【日時】

平成23年6月18日 (土) 13:00開場

一部 13:30~14:45

二部 15:00~16:15

【資料代】500円 (高校生以下無料)



特定非営利活動法人 日本ウイグル協会

ウェブサイト: <http://uyghur-j.org/>

メール: info@uyghur-j.org

日本ウイグル協会は、在日ウイグル人と日本人支援者によって2008年6月に設立された団体です。世界ウイグル会議の傘下組織として、日本での東トルキスタン民族運動とウイグル地域の人権問題への理解を広めるために活動しています。

会長は、世界ウイグル会議、日本全権代表のイリハム・マハムティです。

◆ご支援をお願いします

寄付についてはどなたでも、いくらからでも受け付けております。定額や時期などはありません。日本ウイグル協会の活動にご賛同いただけた場合には、ぜひご支援くださいますようお願い申し上げます。

振込口座： (ゆうちょ銀行からの振込みの場合) ゆうちょ銀行 記号10230 番号21164361
(他行から振込みの場合) ゆうちょ銀行 店番(店名)028(セロハフ) 番号2116436



日本ウイグル協会
Japan Uyghur Association
پاپونىيە ئۇيغۇر جەمئىيىتى